令和２年度　六ツ美中部小学校　校長室だより　第３２号

いちめんのなのはな

令和３年１月２１日（木）
校長　鈴木　誠（こうちょう　すずき　まこと）

チューリップが芽を出し始めました

- １年生　生活科 -

寒の内にふさわしく冷え込む日があったかと思うと、春のように温かな日があるなど、寒暖差の大きなころごろです。でも、季節は確実にめぐっており、１年生が生活科で育てているチューリップが芽を出し始めました。

登校すると様子を見たり、鉢の乾き具合をみながら水遣りをしたりと、子供たちはチューリップの育ちや花が咲く日を楽しみにしています。そして、子供たちに命を大切思う心も育っています。

避難訓練

- １月１３日（水）-

運動場で遊んでいた子供たち
中央に集まり身を低くすえる

今年、第３回目の避難訓練を行いました。今回の訓練は休み時間などに大地震や火災に見舞われた際の対応についてです。事前に、この週のうちに訓練があることは知らされていた子供たちですが、それがいつかを知らずに休み時間などを過ごしていました。

この日の長放課、突然の緊急地震速報とその後の訓練放送が学校中に響きました。運動場では、子供たちは姿勢を低くして腕で頭を抱え、校舎から離れて身を寄せ合いした。落ち着いた行動が印象的でした。校舎の中でも同様の対応ができていたようです。コロナ禍にある昨今ですが、こうした非常事態への備えも大切にしたいと思います。この機会にそれぞれの御家庭でも、いざというときについて話題にしたり、備えを確認したりされてはいかがでしょうか。

３年生のタブレット利用開始

３年１組の教室にて　　1/15

３年生の教室にも一人一台のタブレット端末が配置されました。今後、１年生と２年生の教室にも配置され、利用が始まっていく予定です。

１月１５日（金）、３年１組の教室では、子供たちは教室の保管庫から自分に割り当てられたタブレット端末を取り出して、利用の約束を確認したりアプリケーションを利用して描画や文字の入力を楽しんだりしました。

子供たちの姿には、タブレット端末に集中するだけでなく、周りの様子も気にかけて操作に戸惑う級友を支援する様子も見られました。デジタル化に拍車がかかる昨今ですが、子供たちの心に息づく思いやりや温かみも大切にしたいと思いました。

一方で、担任の先生が教え合う子供たちへ互いに距離を保つように助言する場面がありました。コロナ禍にあって、様々な面に気を配りながら学びを止めない大変さを再認識しました。

「こんなに違うの」消費電力の違いに驚き

ストップ温暖化教室

－６年生　総合的な学習の時間　１月１９日（火）－

愛知県地球温暖化防止活動推進センターのボランティアさんを講師に招いて、６年生が「ストップ温暖化教室」を受講しました。

地球の温暖化と異常気象の現状、温暖化のしくみ、暮らしと電気、様々な発電のしくみ、温暖化と密接につながる二酸化炭素が家庭からも排出されていること、地球規模での温暖化対策の状況、暮らしの中で二酸化炭素を減らす方法などについて、実験を交えて学びました。

白熱電球とＬＥＤ電球のそれぞれの消費電力がワットチェッカーに表示された際の、ＬＥＤ電球の消費電力の少なさに対する子供たちの驚きの大きさが印象的でした。その感動は、温暖化防止について考え創造したり実践したりする原動力につながるのではないでしょうか。そして、私たち大人も、子供たちと共に歩んでいきたいと思います。

ピアチェボーレの音楽会

－１，２年生と４・５組　音楽科１月22日（水）－

「パプリカ」の演奏で歌い踊る子供たち

ボランティアグループ「ピアチェボーレ」による音楽会を行いました。昨年までは音楽室で行っていましたが、本年度は体育館に教室から自分の椅子を持ち込ん据えるなどして十分な距離を確保したり物の共有を避けたりしたうえで、換気にも配慮して実施しました。その他、新型コロナ感染対策として、演目の簡素化、児童が表現する場面は手拍子に限定するなどしました。

子供たちはフルートなどの生の楽器演奏に触れながら、音楽の楽しさを味わいました。ピアチェボーレの皆様、ありがとうございました。

縄跳びに勤しむ子供たち

長放課や昼放課だけでなく、朝の運動場にも子供たちの元気な姿があります。最近多くみられるのが縄跳びに勤しむ子供たちです。輪を作って技を決めて数を数えながら、競い合ったり達成を喜び合ったりしています。１年生から６年生まで多くの学年にそうした姿があり、子供たちの笑顔や一生懸命な表情に目を奪われます。

愛知県に緊急事態宣言が発令されたことを受けて、なわとび大会では、バージャンプや大縄を種目から外しました。その関係で、大縄の跳び方を上級生が下級生の教えるなどの、本校の子供たちらしさ見られたり高まったりする機会が減ったことを残念に思っていましたが、子供たちは種目の削減を受け止め、互いに高め合い磨き合うことを楽しむ姿を見せています。